

資料：1987—1989年における標識ヒシク イの観察記録の集計結果

加 藤 喜 七

これは、1987年にカムチャツカ半島で標識されたヒシクイ（ヒシクイ・オオヒシクイ）の観察記録の集計結果である。図内の数字は観察されたヒシクイの数である。矢印は移動方向を示すが、両方向の矢印は2地域を往復したことを示す。

日本における標識鳥の確認数は、1987年に102羽、1988年は79羽である。1988年の79羽のうち7羽は前年に観察されていない。2年間で標識鳥の観察数は $102 + 7 = 109$ 羽で、標識した1,267羽の87%が、日本で観察されたことになる。なお、この集計結果は雁を保護する会とソ連科学アカデミーとの共同調査で得られた成果の一部で、雁を保護する会によりまとめられたもので（1989年6月30日現在）、同会の許可を得て日本野鳥の会北海道リーダー研修会（1990年3月、苫小牧市）で報告したものである。また、本誌への掲載についても同会の許可を得た。